

# PCSA アクションレポート(遊技法研究会)

平成 29 年 9 月版

## 第 61 回遊技法研究会

- 開催日時 平成 29 年 9 月 21 日（木） 午後 2 時～午後 3 時  
開催場所 「ホテルモンテ グラスミア大阪」23 階 «ウインダムホール»  
出席人数 メンバー 7 名、正会員オブザーバー 1 名、合計 8 名  
出席者 <担当理事>  
石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長、理事
- <委員長>  
荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役、法律問題研究部会 リーダー
- <委員>  
大石 明德 株式会社ニラク 取締役、副代表理事  
荒舩 伸一 株式会社ボネール AM 担当部長、理事  
國澤 良幸 株式会社大商 会長  
國澤 良平 株式会社大商 景品流通システム部部長  
石黒 勝 三本コーヒー株式会社 取締役管理部長  
岡本 健 株式会社東和商事 常務取締役
- <解説>  
生島 靖也 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部法務担当、法律問題研究部会部員
- <アドバイザー>  
加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長、代表理事  
金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長（アメニティーズグループ）、副代表理事  
齊藤 周平 株式会社ジョイナス 常務取締役、副代表理事  
藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長、理事  
山田 孝志 株式会社 TRY&TRUST 代表取締役社長、理事  
金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長、理事  
河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長、理事  
中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会 専務理事  
宮村 伸輔 JCM システムズ株式会社 法人担当部長、監事  
佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長、モデレーター  
牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表、アドバイザー  
藤田 宏 エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長、アドバイザー
- <オブザーバー>  
辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ長、  
依存問題対策プロジェクトチーム リーダー

岩田 友宏 株式会社スリーストン 営業部長  
前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長  
日好 信之 株式会社インターコスモス 取締役部長  
小野 俊一 株式会社インターコスモス 課長

## 1) 遊技くぎ問題・賞品（景品）問題について

解説 生島 靖也 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部法務担当、法律問題研究部会部員

### ①遊技くぎに関する問題について

- ・手続き上のルール、遊技機性能に関するルールについて。
- ・過去の講話における見解を時系列順に解説。来年施行の規則改正について。

### ②賞品（景品）に関する問題について

- ・賞品（景品）に関する制限や禁止事項に関する法的根拠
- ・賞品（景品）関連に関する講話や見解の解説。

#### <意見>

- ・レシート発行に問題はないのか？
  - ・・・発行自体に問題は無い。レシートを付けて交換する事については指摘される可能性がある。
- ・提供賞品が市販されている必要がある。同様に市場価値のあるものの提供が必要。
- ・賞品（景品）に関する禁止事項等について、啓蒙するための手法を考える必要がある。

## 2) 日本遊技機工業組合（日工組）訪問報告（検定について確認）

日時：平成 29 年 9 月 12 日（火） 午前 11 時～午後 12 時 10 分

会場：日本遊技機工業組合（日工組）会議室

参加者：日工組

技術委員 2 名、事務局 2 名

PCSA

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役、法律問題研究部会 リーダー

事務局 1 名

#### <議事>

### 1. PCSA「遊技法研究会」の概要説明（荒田委員長）

PCSA 遊技法研究会で議論されている内容について説明をした。研究会では「賞品問題」「くぎ問題」の 2 つをパチンコ営業の重大リスクと位置づけ、そのうちの「くぎ問題」解決のために、保通協での試験制度について日工組の方にレクチャーを受け、意見交換をした。

### 2. 検定にかかる保通協試験の質問（日工組技術委員）

#### ①試験の概要

試験は大きく分けて 3 段階で実施される。

- 1 つ目は、「技術上の規格」の範囲で遊技機が作られているか、書類上のチェック。
- 2 つ目が、「諸元表」「取扱説明書」等通りに遊技機が作られているか、ペーパーと実機比較。
- 3 つ目が、「性能に関する規格」に定められた範囲の性能が確認する、実射試験。

これらを通して試験通過となる。必要となる資料は「諸元表」「取扱説明書」他、関連する資料になるが、資料の詳細はメーカー、警察庁、保通協以外外部外秘となっている。

## ②試験項目に関する質問（仕様書に書かれている内容、試験項目）

## ・くぎに関する試験項目

試験の段階としては上記 2 つ目の「ペーパーと実機比較」で行う。内容は「取扱説明書」に書かれているもので「入賞口のサイズ（mm）」「くぎの方向（時）」「くぎの角度（度）」の 3 点。厳密にいうと、これらの数字が取扱説明書と異なると「検定通りの遊技機」と同一とは言えない。なお、「取扱説明書」は遊技機がホールに納品される際に付属している。

また、他にも「本数」「配置」「形状」「硬度」などが定められている。

## ・ベースについて

ベースについては、保通協の試験項目には無い。日工組の内規で決まっている。内規は基本的に部外秘。報道によると 2016 年 8 月 5 日型式試験申請分より「ベース 30%以上」「ヘソ賞球 4 個以上」等の変更があったとの事。

## ・くぎ確認シート

こちらも保通協の試験項目に無い。内規にも無く、日工組から組合メーカーへの正式な通達もない。検定機と同一型式を確認するための補助ツール、という位置づけ。それゆえ、フォーマットもなく、シートの形式もメーカーによって異なる。

## 3. パチンコホールにおける遊技くぎの対応（今後について意見交換）

- ・今後「性能表示」が遊技機に設置される予定。表示される内容や、設置時期は未定。（ベースだけではない可能性もある。振れ幅が大きい数値は掲示したくないという意向はある）
- ・設定機能を持った遊技機については各社検討中。基本的には最大出玉が設定 6 でそこから大当たりの確率が下がる方向。設定の対象は大当たり確率だけなので 6 段階の設定は難しい。また、設定を設けることにより実射試験で検定に適合しない可能性が高くなることが予想される。
- ・現在の遊技機は検定機との同一性をきちんと担保して出荷している。確認方法は各メーカーによって異なる（数年前とは格段に違うとの事。工場見学で実感する事も要検討）
- ・「ベース」「くぎ確認シート」は保通協試験の対象でないので、この 2 つを検定機と同一性を担保するためのツールとして活用するのは工夫が必要になる。
- ・現在、「新台設置」「中古機流通」においては型式を担保する仕組みができています。

## &lt;意見&gt;

- ・検定を通っているのはサンプル。納品されているのが一緒とは限らない。
- ・設置中の遊技機の型式を担保するスキームを作成も検討してはどうか。

## 3) その他

- ・UA ゼンセン パチンコ関連部会でパブリックコメントを提出。雇用の懸念を伝えた。

## 4) 次回開催

平成 29 年 10 月 19 日（木）  
午後 2 時 45 分～午後 3 時 45 分  
PCSA 会議室

以上